

# 桜井市議会議員 やすおき つちや靖起

士 家

活動報告

第65号

新型コロナウイルス感染症対策に日夜取り組まれている医療従事者の皆さまをはじめ、社会機能維持のため日々取り組まれている全ての皆さまに、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

また感染症によりお亡くなりになられた方に対して、謹んでお悔みを申し上げますとともに、罹患されました方には、一日も早い回復を祈念いたします。

連絡先 633-0064 桜井市戒重57 電話0744・43・9288 FAX0744・43・9295  
メール tuchiya@seikatubunka.jp

## 建物耐震不足

# 市民会館、再開の見通しは

## 市「プロジェクトチーム」で検討

桜井市議会の土家靖起は、令和2年度の市議会3月定例会で、建物の耐震性がなく、一時休館が決まった市の芸術・文化の拠点として親しまれてきた市民会館について一般質問に登壇し、今後の再開などの見通しについて市の考えをたずねました。市は「市民会館については、将来必ず再開できるように、施設の在り方、改修の方向をプロジェクトチームで検討し、決定していきたい」と答弁しました。これら議会活動をこ報告いたします。

### 土家

市民会館と中央公民館は昭和56年4月に開設され、芸術・文化の拠点として市民はもとより、多くの県民に親しまれてきた。そのような中、今回の建物耐震診断結果においては、市民会館でIS値0.19(最小値)、中央公民館でIS値0.35(同)になった。

一般的には震度6強から7程度の規模の大地震発生時に安全であると考えられるレベルが0.6以上、多数の人が利用する建物では0.75以上が必要になり、基準を大きく下回る非常に厳しい結果であったと認識している。

地震災害に備え本庁舎が新しくなるが、同じ敷地内のすぐ横には、倒壊の恐れがある建物が残されていることになる。市民会館と中央公民館の今後の在り方について、考えを聞きたい。

### 教育長

市民会館は、大規模な地震の振動および衝撃に対して、倒壊または崩壊する危険性が高いとされ、非構造部材のつり天井やシャンデリアが地震の揺れによる破損または落下の

危険性が高いという判定をされた。

さらに構造的にも一つの大きなホールで構成されており、地震発生時のつり天井やシャンデリアの落下に対して、安全対策を取ることが非常に難しく、やむを得ず一時休館を決めた。一方の中央公民館は、大規模な地

震の振動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。建物がL字形状になっており、下層の部分がピロティになっている教育委員会棟の危険性が高い。公民館棟については、会議室が多く、壁の多い構造になっており、市民会館のような大きなホールや落下の危険性があるようなつり天井がない。このことから、安全性を確保しながら、継続して開館していくことを決めた。

両施設の今後については、現在立ち上げている両施設の在り方プロジェクトチームでしっかり検討していきたいと考えている。

### 土家

市の公共施設のうち、耐震化ができていない施設の率は67%だが、耐震化ができていない施設についてどのように考えているか。

### 市長

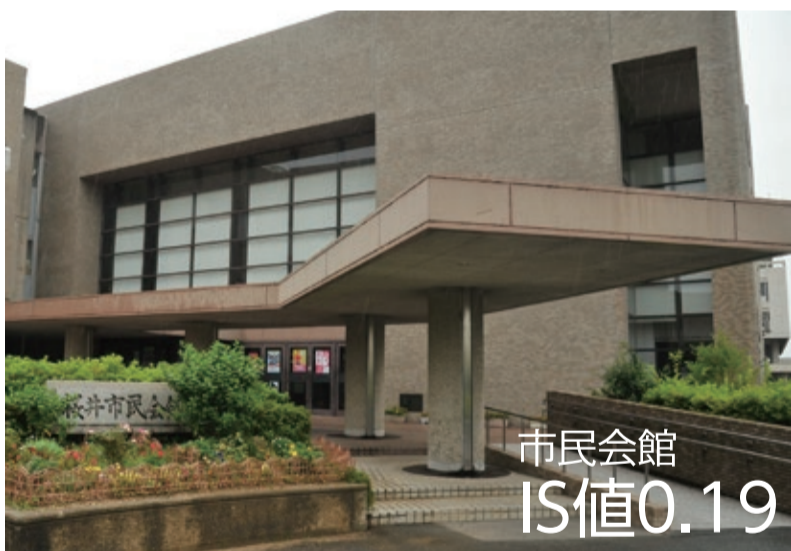
公共施設の更新や大規模改修は大きな財政負担が伴い、その後の行財政運営にも影響する。今後ファシリティマネジメントの観点である公共施設の総量削減、最適化、有効活用、質の見直しをふまえ、市民の皆さまの安全安心のため、適切に見直してまいりたい。

### 土家

今後、市民会館をどのようにしていくか、将来展望は。

### 市長

市民会館については、将来必ず再開できるように、そして中央公民館については、できるだけ早い時期にリニューアルも含め、施設の在り方、改修の方向をプロジェクトチームで検討し、決定していきたい。



市民会館 IS値0.19

震度6強から7程度の規模の大地震発生時

- ・安全であると考えられるレベル= 0.6以上
- ・多数の人が利用する建物では= 0.75以上

両館ともに基準を大きく下回る非常に厳しい結果に



中央公民館 IS値0.35

